

「改革 2020」の具体的プロジェクトの検討にあたって

平成 27 年 2 月 9 日
産業競争力会議
改革 2020 ワーキンググループ
主査 竹中平蔵

■意義

オリンピック・パラリンピック競技大会等が東京で開催され、国際的に日本への注目が高まる 2020 年を成長戦略（「日本再興戦略」及び「日本再興戦略」改訂 2014）で掲げた諸改革を進めるレバレッジとして活用し、改革をアクセラレートさせる。

我が国の強みを「社会実装・ショーケース化」し、海外にアピールできる具体的な「プロジェクト」を厳選。工程表を作成し、プロジェクトの作り込みから実行までを管理する。

2020 年をゴールではなくターゲットイヤーとし、民間、国、地方自治体の責任ある参画のもと、成長戦略が着実に具体化・実行されていくプロセスを世界にアピールする。ターゲットイヤーまでわずか 5 年間しかなく、より一層の改革加速の取り組みが求められる。

「改革 2020」のキーコンセプト

- I. 成長戦略を加速させる牽引役（アクセラレータ）
- II. 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会等を梃子として活用（レバレッジ）
- III. 後世代に継承できる財産（レガシー）

■プロジェクトの選定・収集

各府省におかれては、「改革 2020」に盛り込むべきプロジェクト案について、以下 2 点に留意のうえ速やかに検討され、提出をお願いしたい。今後、WG でのヒアリングも実施する。

- ① 民間の知恵を吸い上げるとともに、民間の取組みを引き出すようなプロジェクトを組成すること。
- ② 関係府省間で情報交換を行い、複数のプロジェクトを束ねてパッケージングするなどより効果的な「ショーケース」となるプロジェクトの組成を行うこと。

<提出いただくプロジェクト案の要件>

- ・ 2020 年をターゲットイヤーとして、成長戦略に盛り込まれた施策を具体化するもの
- ・ 国家戦略特別区域や地方創生特別区域の活用も視野に入れ、ショーケース化を通して世界に向けてアピールし得るもの
- ・ 世界からの注目度の上昇に合わせた実行により高い政策効果を生み出せるもの（成長戦略上の KPI を踏まえること）
- ・ 民間の知恵、アイデアを最大限活用し、地方自治体とも連携した取り組みであること
- ・ 一過性のデモンストレーションに留まらず経済社会構造の抜本的な改革につながり、後世代に継承される取り組みであること

■重点政策分野

上記の「改革 2020」の意義、プロジェクトの要件等に鑑み、「改革 2020」アクションプログラムを以下 4 つの重点政策分野のプログラムから構成。選定されるプロジェクトは以下のプログラムの何れかに位置付ける。

- ・ 技術等を活用した社会的課題の解決・システムソリューション輸出
- ・ クールジャパンの深化とその認知度の向上
- ・ 訪日観光客の拡大に向けた環境整備
- ・ 対日直接投資の拡大とビジネス環境等の改善・向上

■進め方

この「改革 2020」アクションプランに位置付ける諸改革の具体化・実行については、進捗管理等の面で、経済財政諮問会議、国家戦略特別区域諮問会議、規制改革会議、その他の会議体との連携を図り、改革を加速化する。

以上

「改革2020」のキーコンセプト

- I、成長戦略を加速させる牽引役（アクセラレータ）
- II、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等を梃子として活用（レバレッジ）
- III、後世代に継承できる財産（レガシー）

<成長戦略>

一. 日本産業再興プラン

- 科学技術イノベーションの推進
- 世界最高水準のIT社会の実現
 - ・ 無料公衆無線LAN環境の整備 等
- 立地競争力の更なる強化
 - ・ ビジネス環境の改善・向上、都市の競争力の向上、都市・住環境の向上、空港アクセスの改善 等

二. 戦略市場創造プラン

- 国民の「健康寿命」の延伸
 - ・ 医療・介護のアウトバウンド、外国人が安心して医療サービスを受けられる環境整備 等
- クリーン・経済的なエネルギー需給の実現
 - ・ スマートコミュニティ、水素社会の実現 等
- 安全・便利で経済的な次世代インフラの構築
 - ・ 新素材の開発、完全自動走行システムの試用開始、等
- 世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現
 - ・ 農林水産物・食品：日本食材に係るジャパン・ブランドの推進 等
 - ・ 観光資源等：バリアフリー化、出入国手続の迅速化・円滑化、無料公衆無線LAN環境の整備（再掲）、多言語対応、免税店の倍増・免税販売手続の利便性向上 等

三. 国際展開戦略

- ・ 対内直接投資：投資案件の発掘・誘致活動推進、制度改革の実現 等
- ・ クールジャパン：コンテンツの効果的発信・産業化、日本食・日本酒類の海外展開 等

<改革2020の重点政策分野>

- (1) 技術等を活用した社会的課題の解決・システムソリューション輸出
 - ・ 自動運転の実現、水素社会の実現、炭素繊維など新素材の活用など、技術等を活用した社会的課題の解決策であって、2020年にショーケース化でき、その後の対外展開を期待できるものを整理

(2) クールジャパンの深化とその認知度の向上

- ・ ジャパン・ブランドの推進・戦略的対外発信機能の強化、コンテンツ、食、ファッション等の海外展開などに資するものを整理

(3) 訪日観光客の拡大に向けた環境整備

- ・ 出入国手続の迅速化・円滑化、免税店の店舗数拡大・利用者利便向上、公共交通機関利用等の円滑化、無料公衆無線LAN環境の整備・多言語対応の充実、ITの利活用、機能的なバリアフリーの推進などに資するものを整理

(4) 対日直接投資の拡大とビジネス環境等の改善・向上

- ・ 我が国のビジネス環境等の改善・向上策（少子化・人口減少問題への対応等我が国の市場の魅力向上に関する取組みを含む）について整理するとともに、対日直接投資の拡大に向けた誘致方策について検討

重点政策分野を整理
プロジェクトベースで